

平面図での階段下収納の表現方法

文書管理番号：1118-01

Q. 質問

階段下に収納やトイレなどの他の部屋を配置したい。
平面図に階段の破断線を表現したい。

A. 回答

階段下収納や階段下のトイレなど、階段と重なる別区画の表現は、階段区画を分断し、2Dシンボルの階段破断線を配置して作成します。

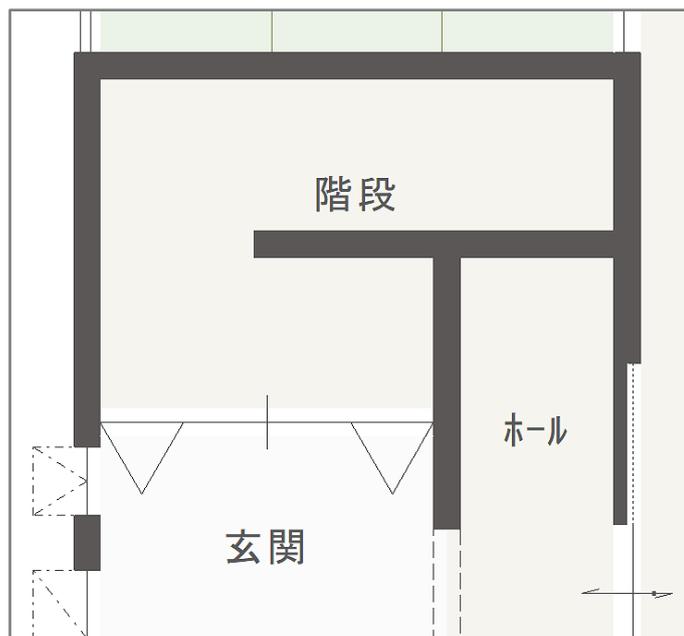
ここでは、玄関横にある階段下収納の作成方法を説明します。

操作手順

● 区画の作成

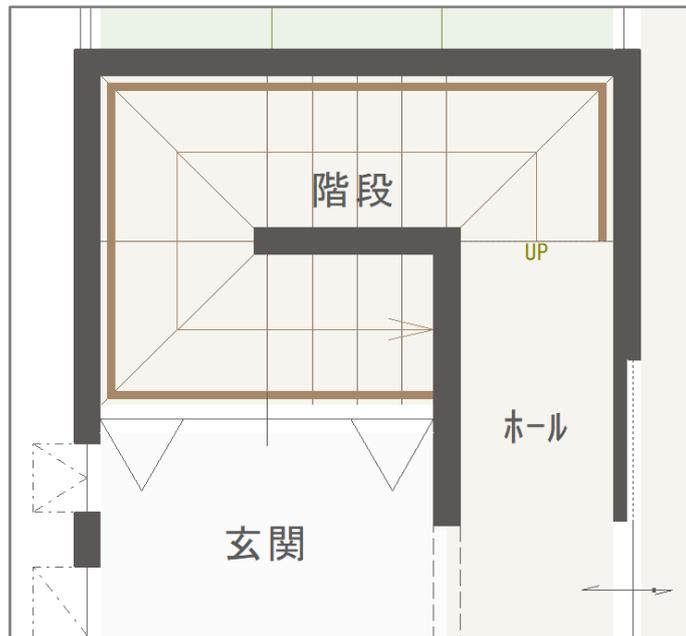
① 図のような階段区画を作成

*  (壁)、 (部屋)を使用して入力します。ここでは、詳しい入力手順は省略します。



② 階段を入力

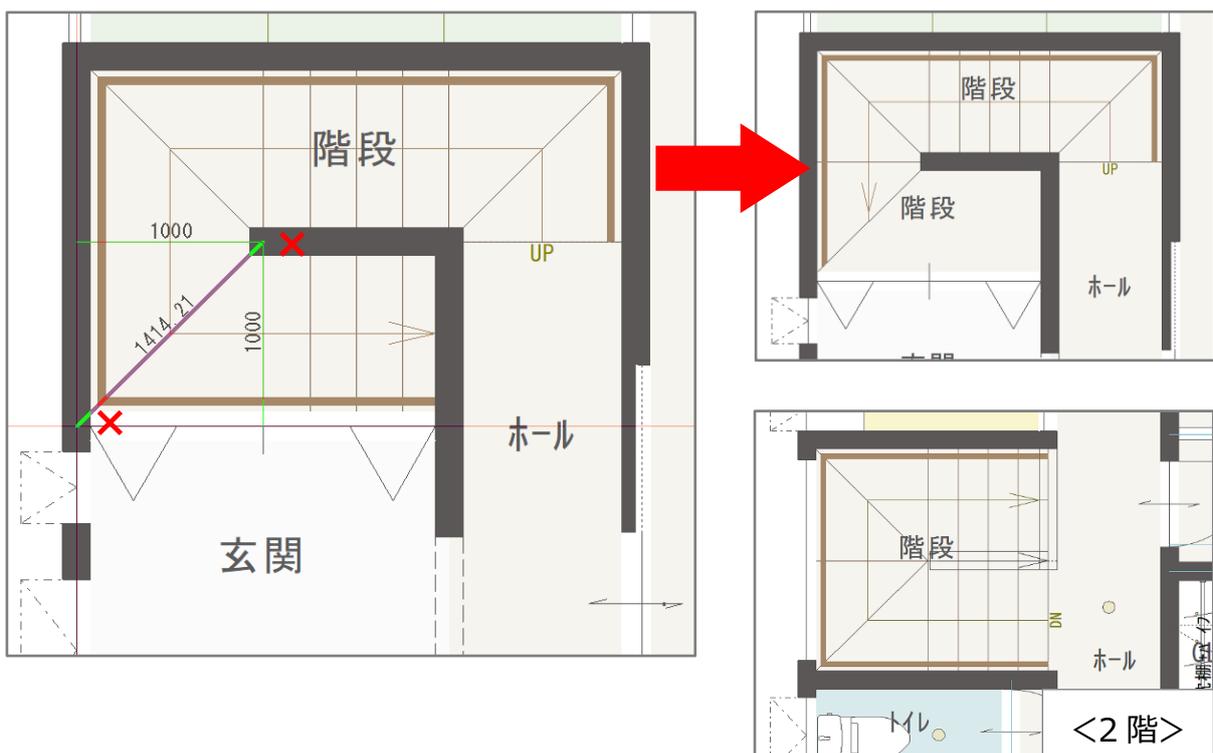
- *  (階段)を使用して、以下のような階段を入力します。ここでは、詳しい入力手順は省略します。



③  (壁)の  (全開口)をクリック

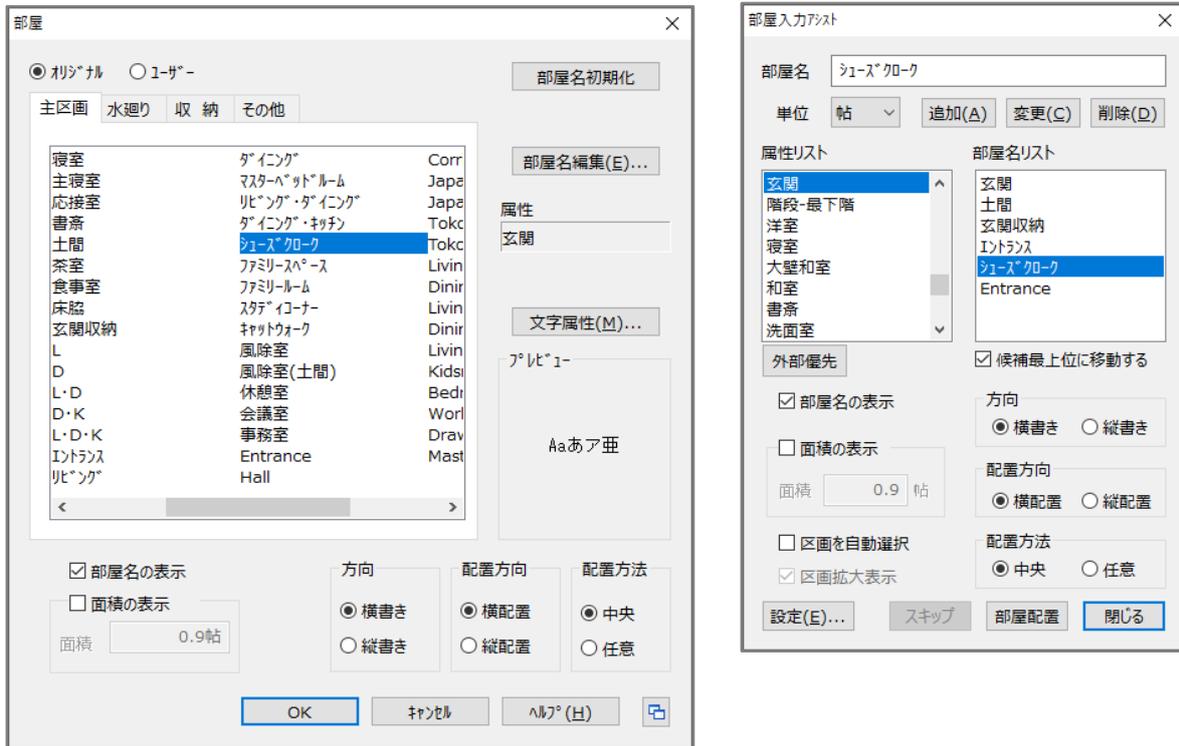
④ 階段区画を分断する位置に、全開口を斜めに入力

- * 階段区画が分かれ、階段の登り口がある区画に階段表示が残ります。もう一方の区画には階段が表示されませんが、階段は2階まで続いており2階には表示されます。



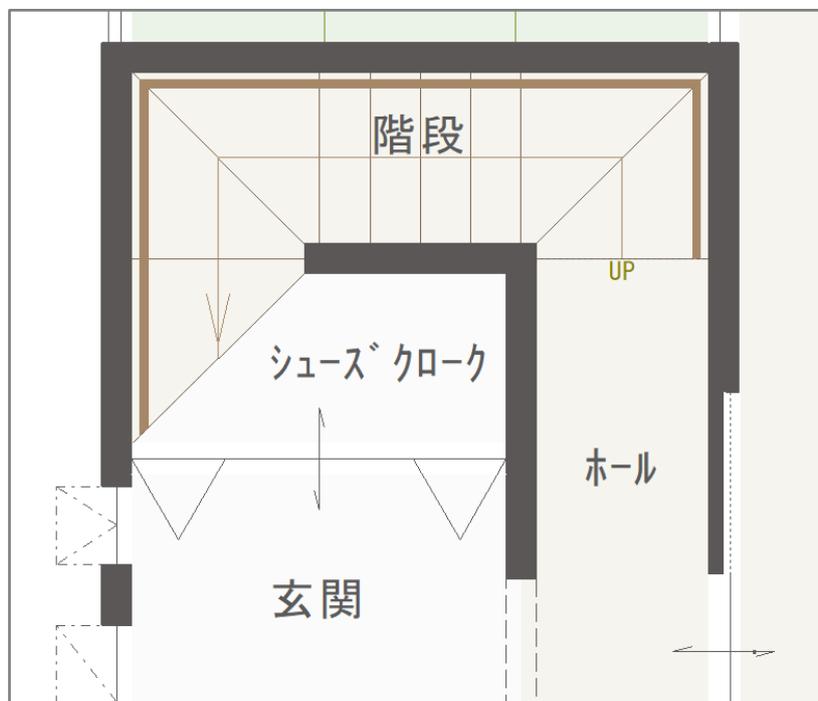
- ⑤ (部屋)をクリックし、階段表示が無い区画（収納側）をクリック

* 部屋を選択する画面が表示されます。



- ⑥ 「シューズクローク」を選択し「OK」（部屋入力アシストでは「部屋配置」）をクリック

* ここでは「玄関属性」の「シューズクローク」を配置します。



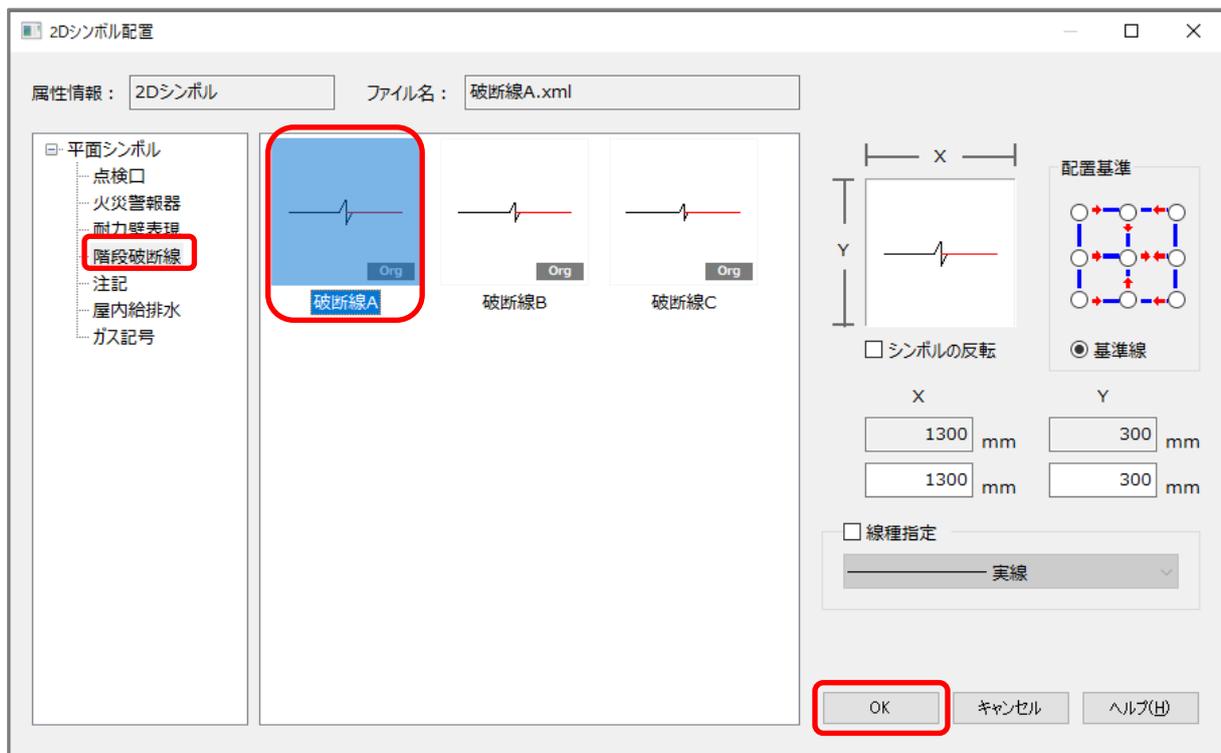
* 部屋名が区画から出ないように、部屋名の配置方法は「任意」で配置します。

● 階段破断線の配置

① (2Dシンボル配置)をクリック

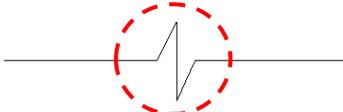
* 2Dシンボル配置画面が表示されます。

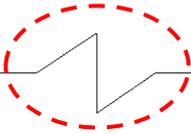
② 「階段破断線」をクリックし、「破断線A」を選択して「OK」をクリック



【注意】

破断線 A、B、C は、シンボルサイズは同じですが、それぞれ破断線の長さが異なります。選択したシンボルのサイズを変更する事は可能ですが、例えば、下図のように X を変更すると、シンボル全体の幅が大きくなり、形状が変わります。

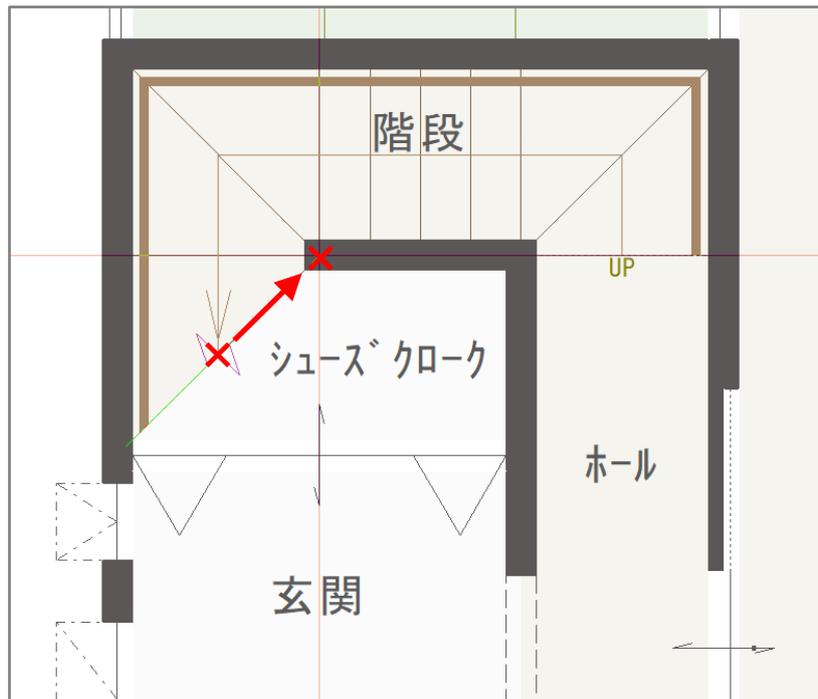

 <破断線 A 初期サイズ X : 1300>


 <破断線 A 3倍にサイズ変更 X : 3900>

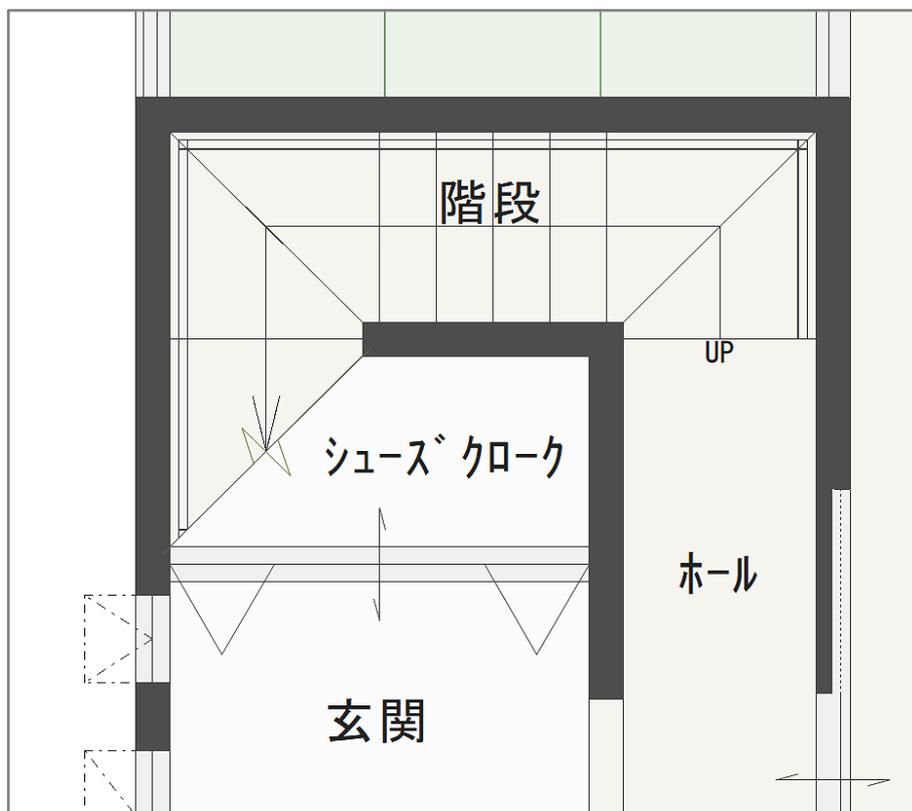
* 2Dシンボル作成で編集、作成も可能です。
 2Dシンボルの操作方法については、こちらをご覧ください。

[\[1032\]記号やシンボルの登録とプラン図での配置](#)

- ③ 階段の切断位置の中心でクリックし、マウスを動かし向きをあわせてクリック



- ④  (画像出力)や  (平面図図面出力)を行い、表示を確認

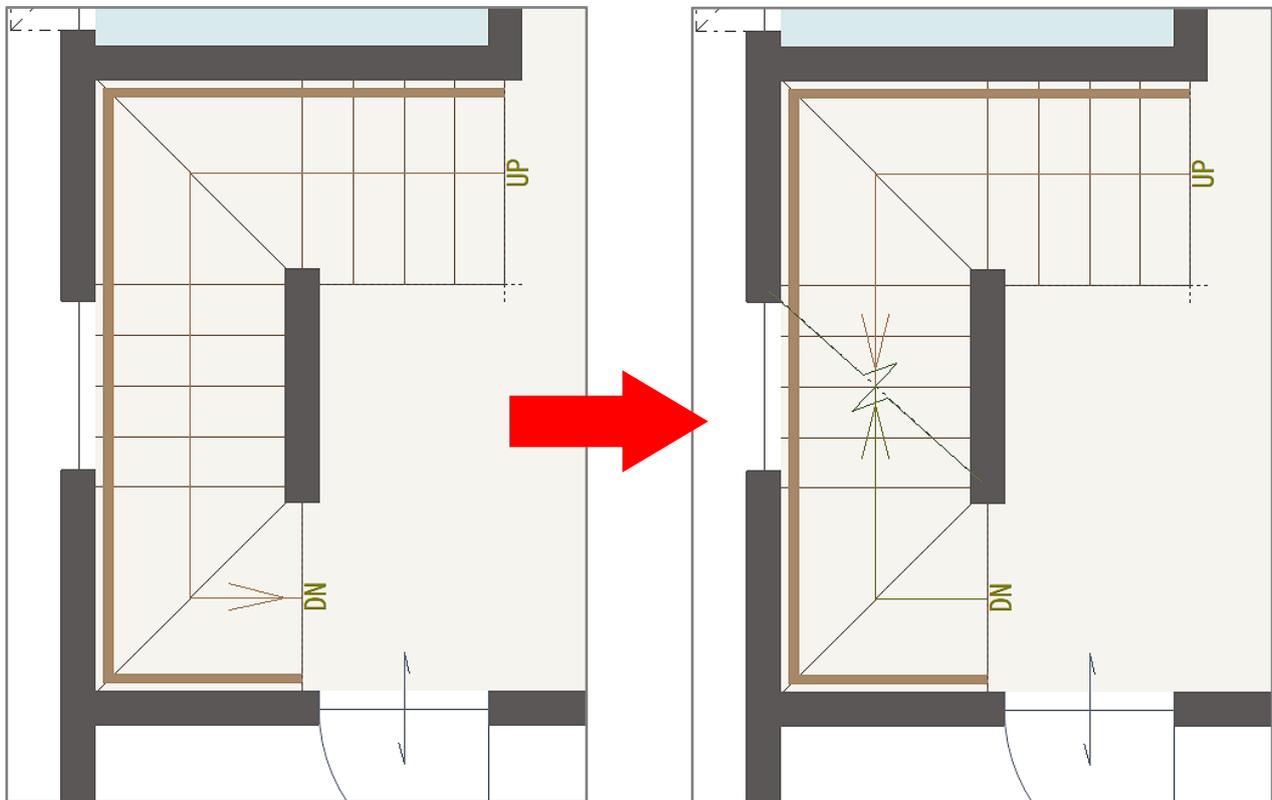


<平面画像>

* 押入やトイレなど、他の区画でも同様の手順で表現できます。

参考：中間階の階段表現

3階建ての回り階段などで、各階で同じ位置に階段区画がある場合、2階などの中間階の階段は、階段区画を全開口で分け、階段破断線を配置して表現することができます。



- * 階段区画を全開口で分断すると、全開口を境に階段の上下方向の矢印を表示できます。